第2分科会
居場所とプラットホームづくり

NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク　田中　敦

営利団体と非営利団体との相違点

お仕事

自分事

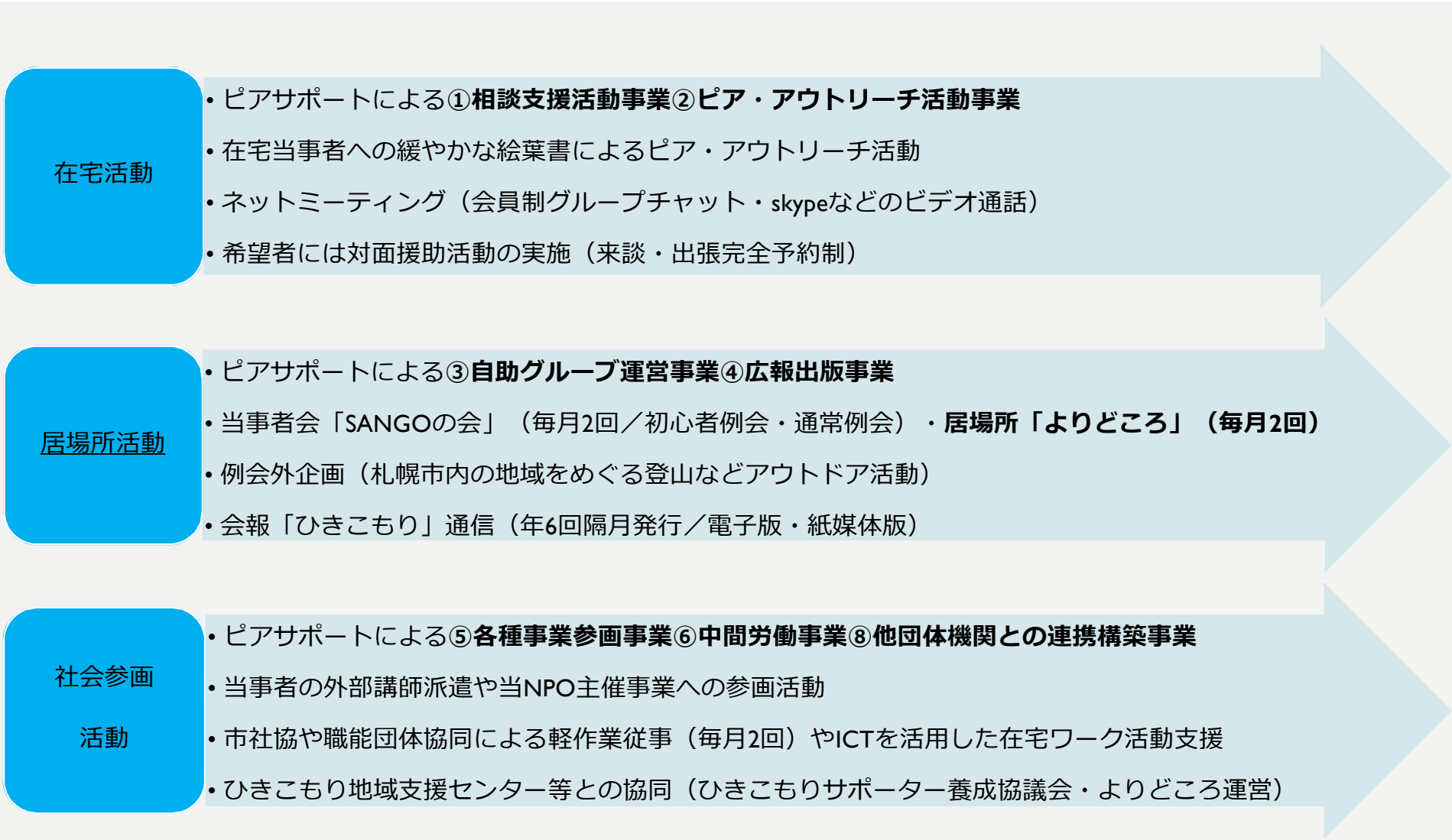


図-1.ピアサポート活動のパラダイム

居場所類型による独自性

タイプ

•対象

•サービス

•運営方向

•経済基盤

当事者主体型

当事者

自由

発信型

脆弱

家族会協働型

家族

助け合い

内助型

不安定

地域共生型

両方

もてなし

受身型

安定

タイプ

•対象

•サービス

•運営方向

•経済基盤

当事者主体型

SANGOの会

当事者経験者

参加者のニーズ

当事者参画

自主財源

家族会協働型

すなはま

家族+当事者

親子関係

バックアップ

年会費

地域共生型

よりどころ

当事者+家族+ピアスタッフ+専門職

新たな実践知

パートナーシップ

公的補助金

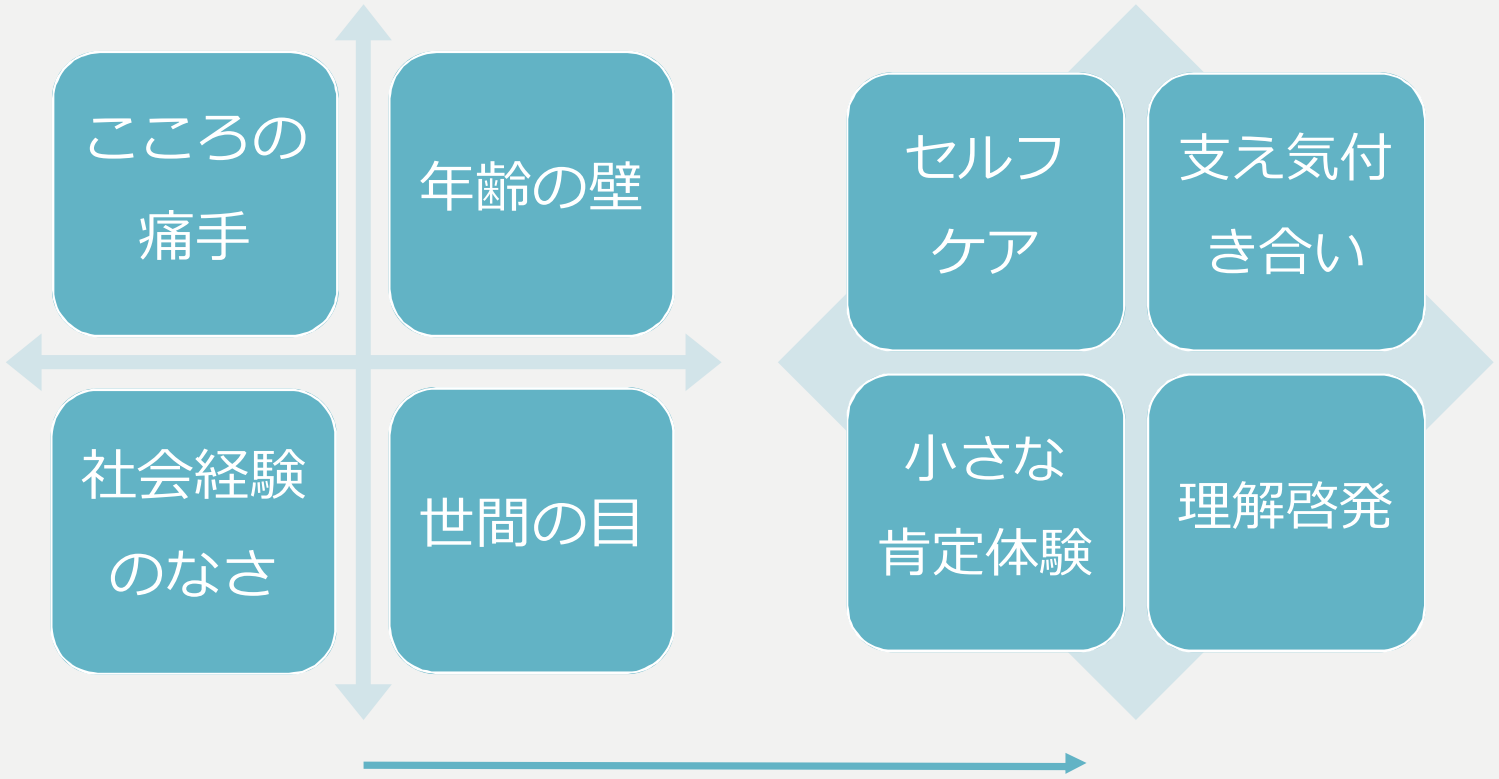
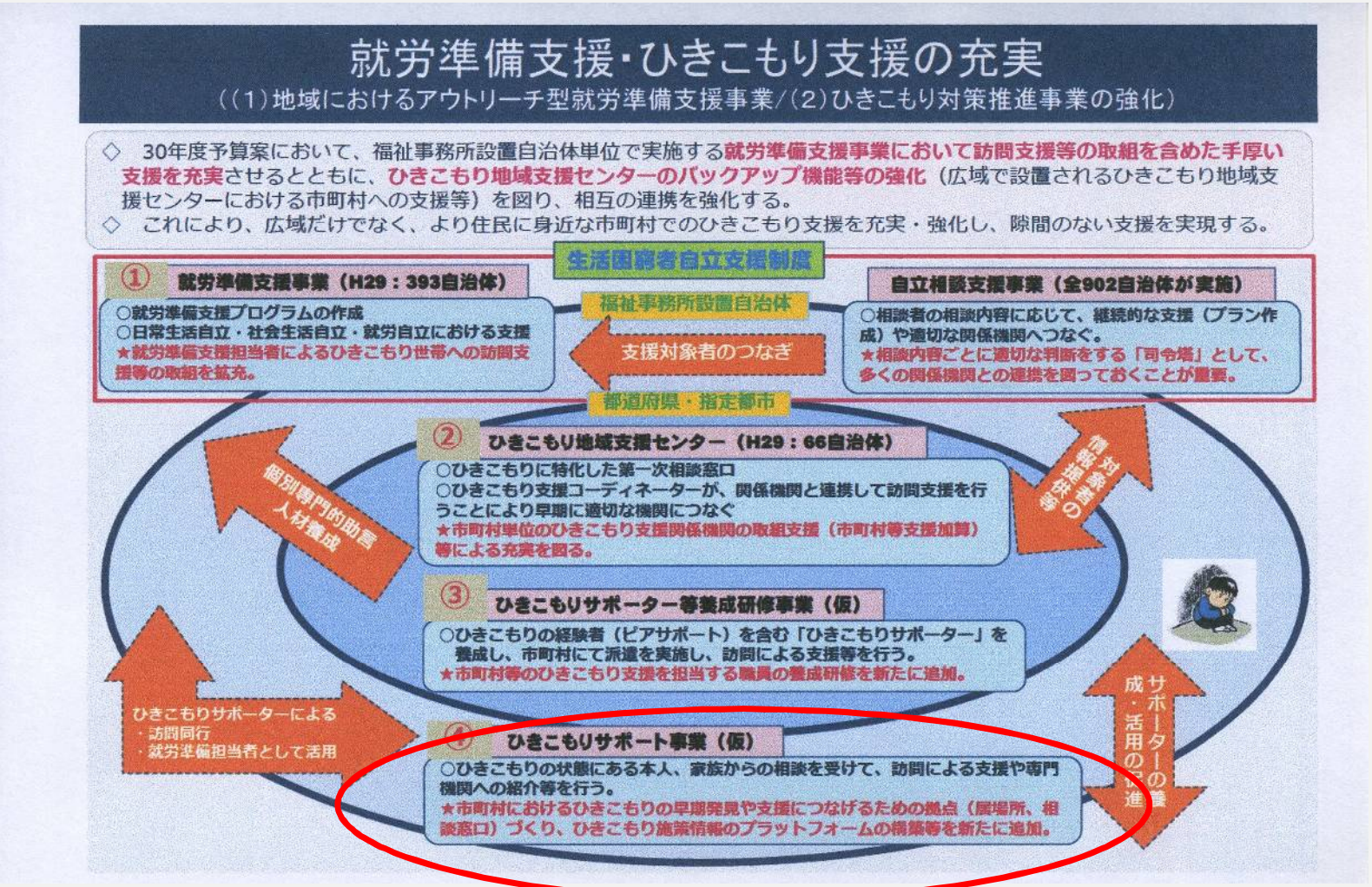
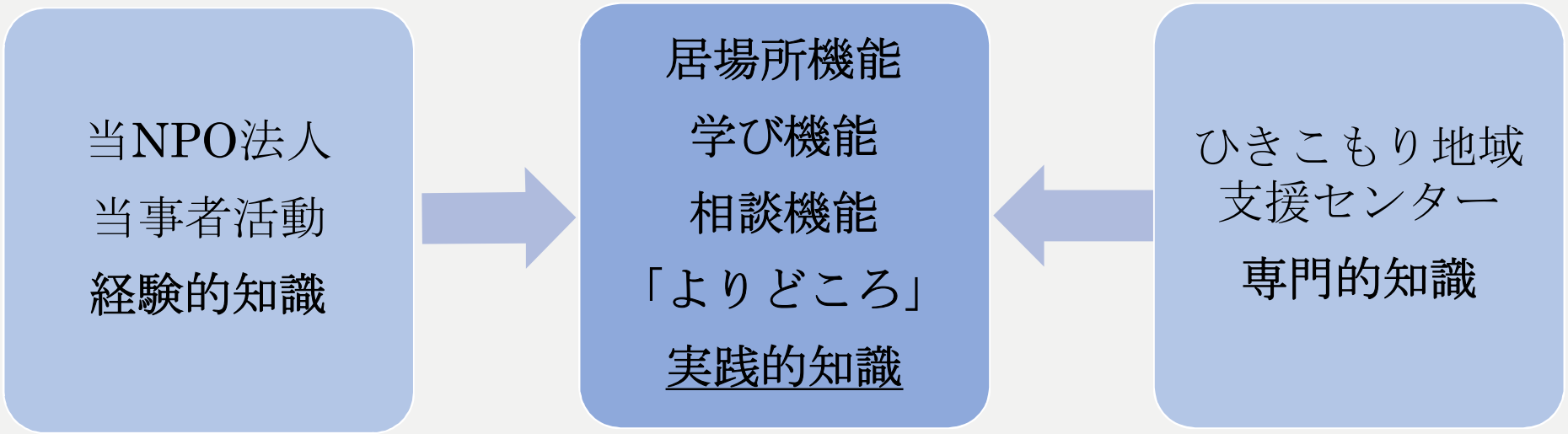


図-2.当事者主体によるピア・サポート活動

ひきこもり支援の充実　ひきこもりサポート事業

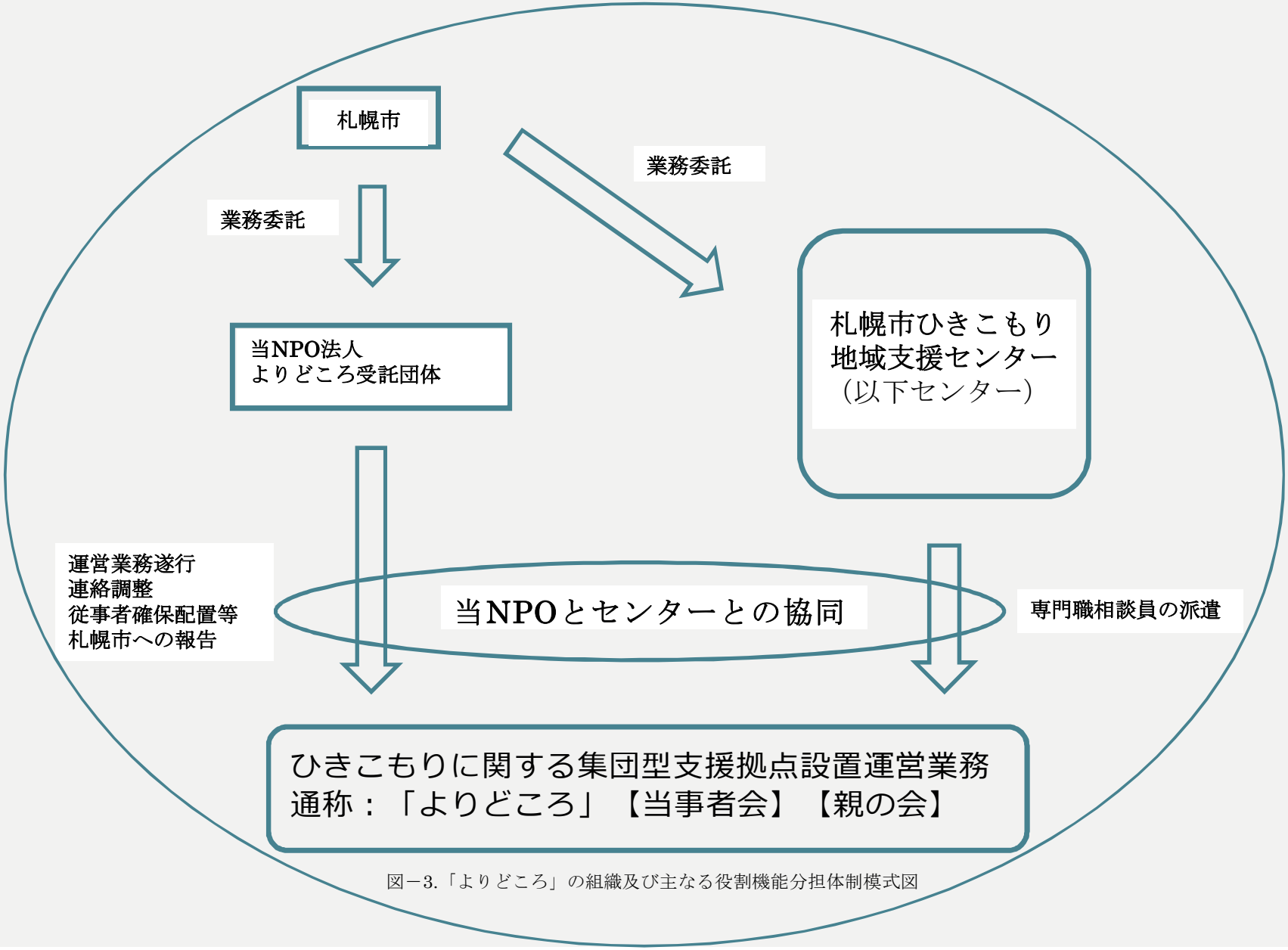


当事者団体と専門相談機関との協同による実践



ひきこもりに関する集団型支援拠点設置運営業務（札幌市委託事業：**2018**年**6**月～）

- **「よりどころ」運営体制と主な機能**
- ①.ひきこもり当事者本人やその家族が安心して集まり似たような仲間との情報交換等の交流が可能な自由度の高いフラットな**「居場所機能」**
- ②.ひきこもり地域支援センターの専門職相談員派遣により参加者の困りごとや個別的な相談に対応し専門的な立場から助言等を行う**「相談機能」**
- ③.ひきこもり当事者やその家族が次の一歩を踏み出すことに有益となりうる知識の習得や学習（例会外企画、CRAFTや家族心理教育など）といった**「学び機能」**
- 上記機能を円滑に実施するために当NPOはセンターと恒常的に連携し、協同して本事業の企画・人選・支援方法・実施プログラム等の検討をすすめる。



図－3.「よりどころ」の組織及び主なる役割機能分担体制模式図

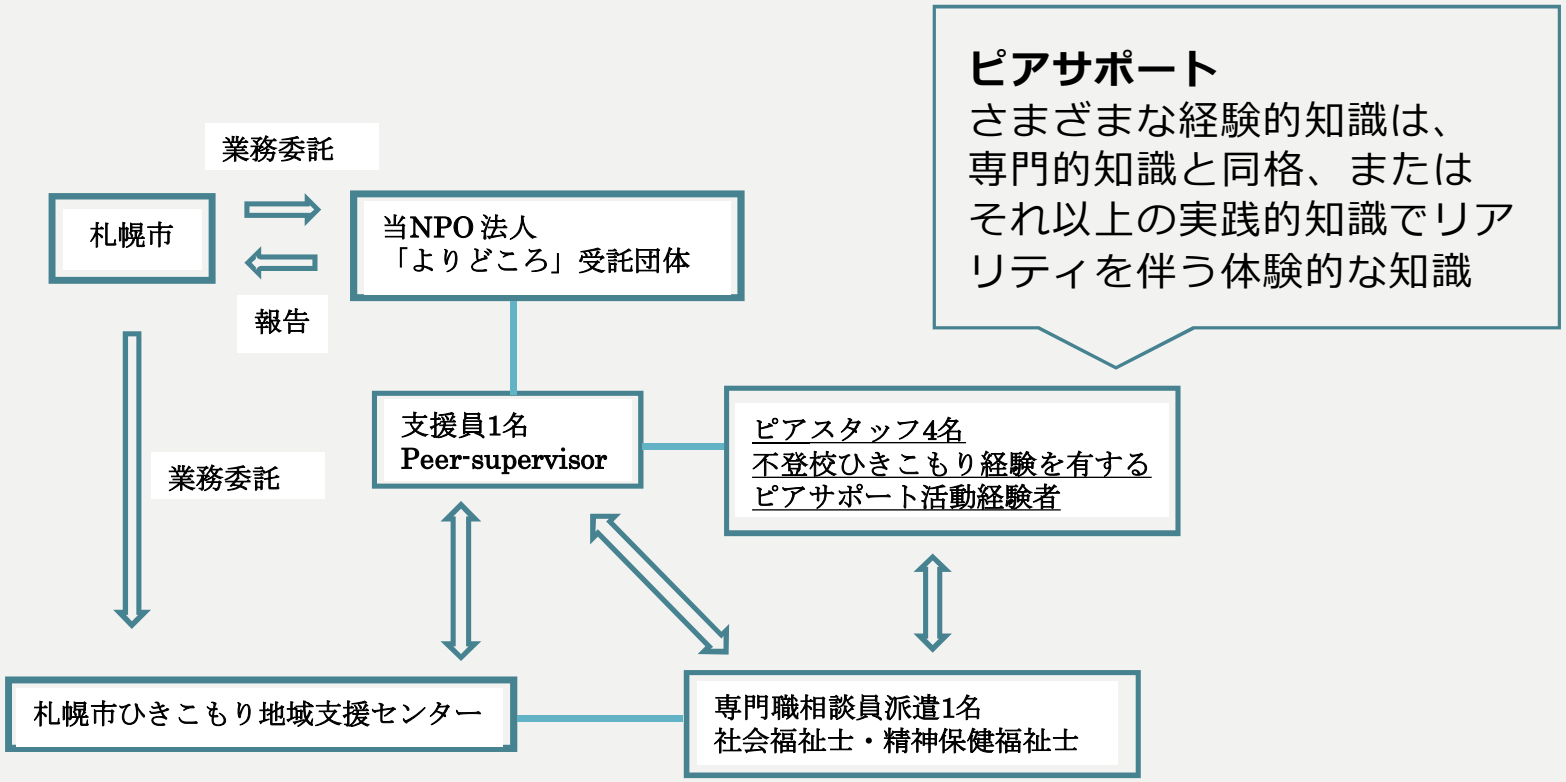


図-4.「よりどころ」のスタッフ体制

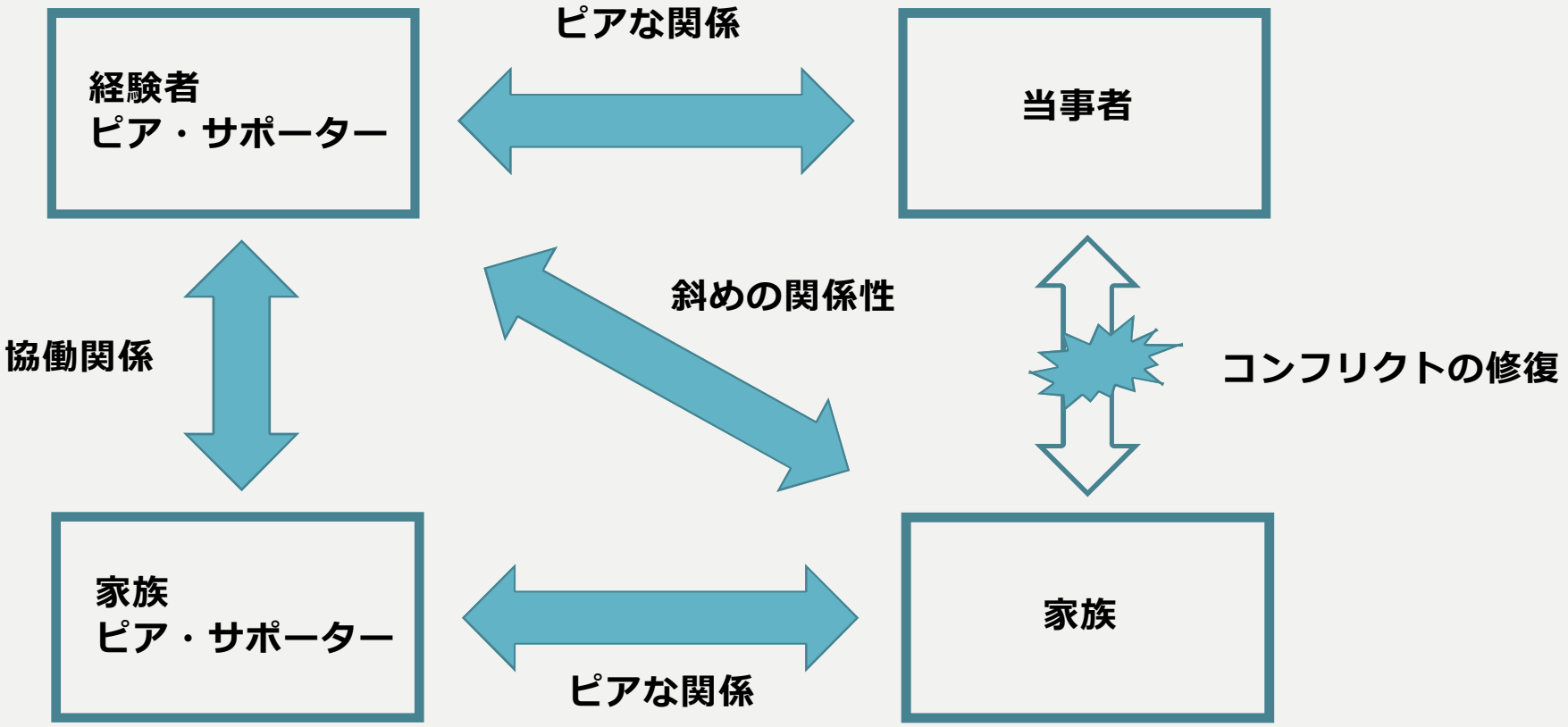
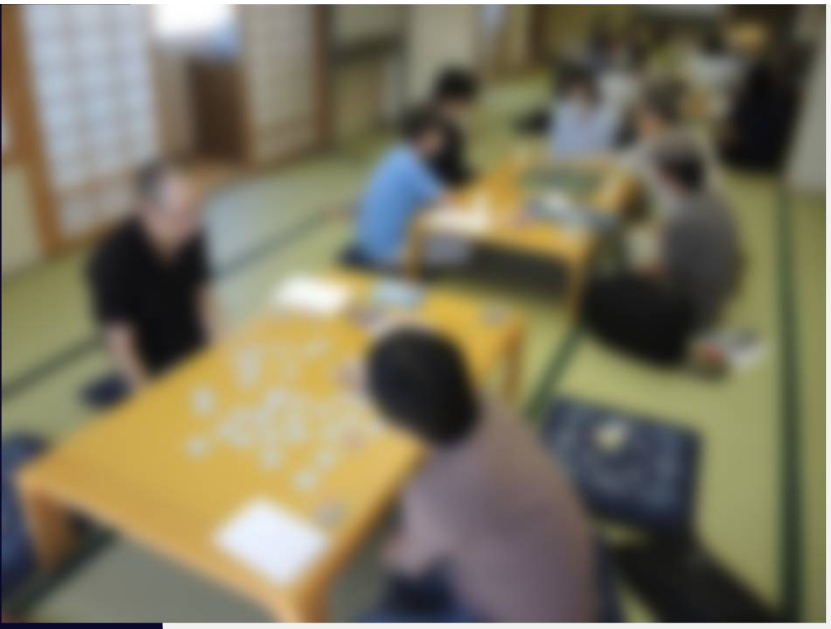
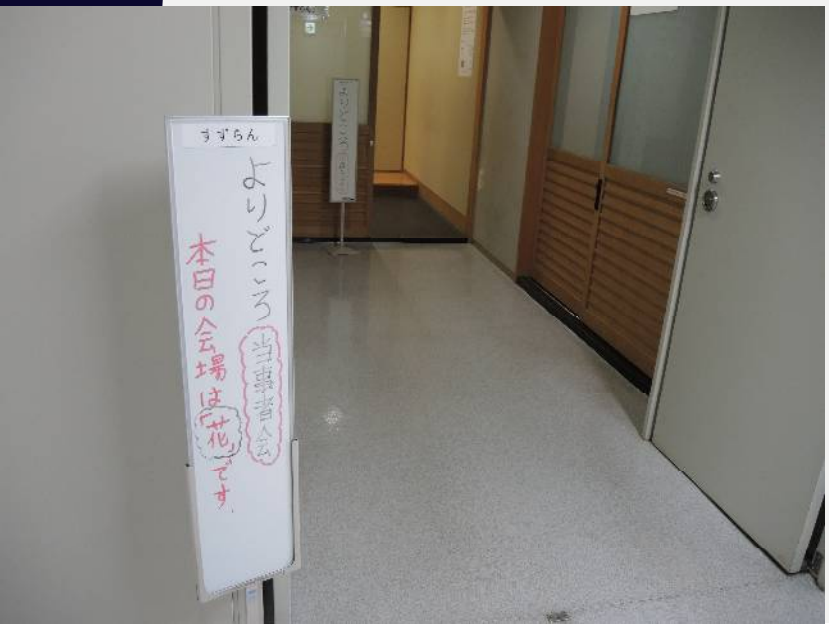


図-5.ピアサポーターの関係性



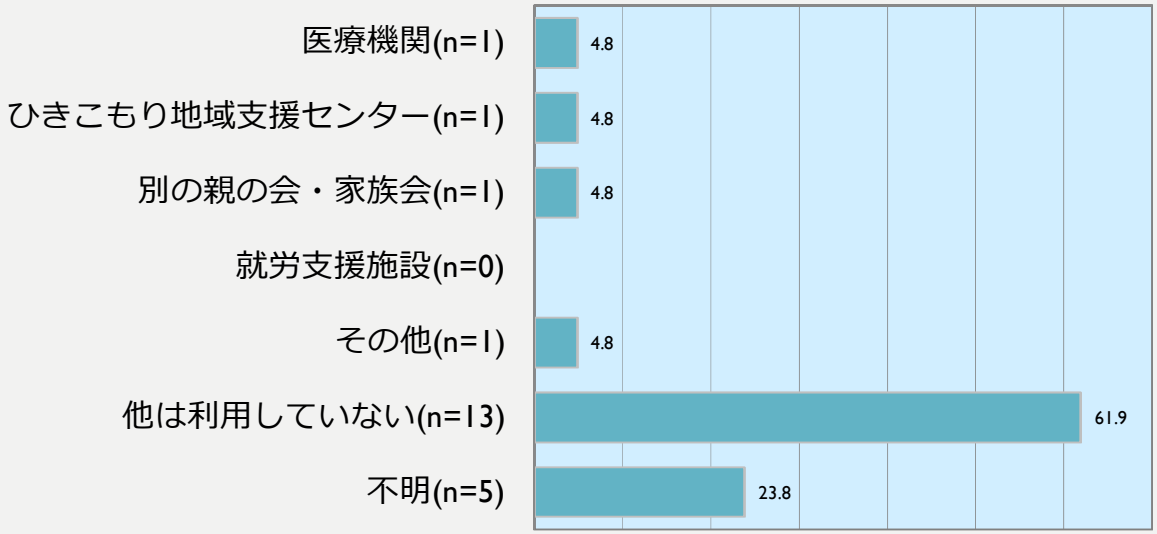


「よりどころ」【当事者会】

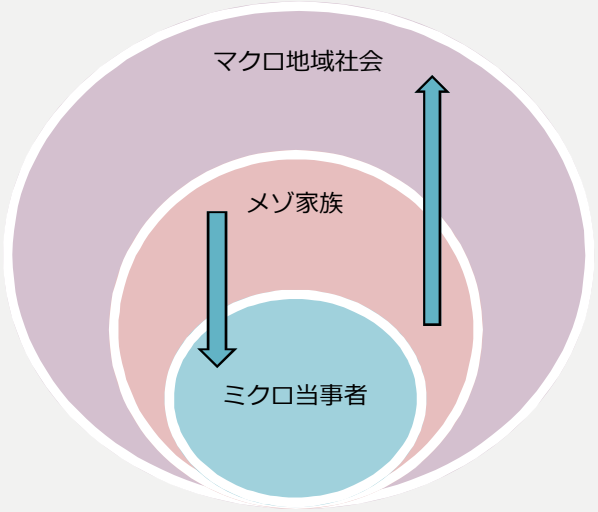
札幌市	NPO法人に居場所の運営を委託。スタッフはひきこもり経験者。
浜松市	精神保健福祉センターとNPO法人が協力。家族教室や訪問支援など役割分担。
兵庫県	県内５箇所でNPO法人に地域ブランチとして委託し、居場所、親の会、相談会などを実施。
熊本県	県内のひきこもり地域支援センターが市町村と連携。2016年度からは女子会も開設。

「よりどころ」【親の会】

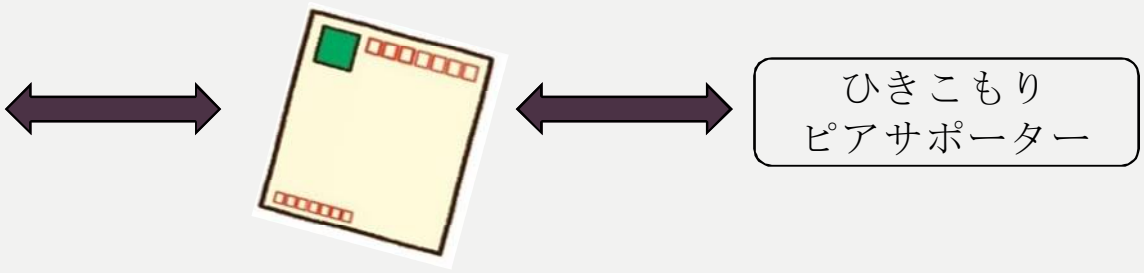
図-8-2.「よりとごろ」【親の会】以外の利用状況について　N = 21



絵葉書を活用した
ひきこもりピア・アウトリーチ体系



①.社会資源が乏しく地域内で孤立しやすい当事者のもっとも近い地域にピアサポーターがアウトリーチ（サテライト事業）
②.当事者としての家族の支援を通して当事者本人に最小限の同意を得る見返りを求めない絵葉書を郵送（緩やかなピア・アウトリーチ）
③.当事者が安心して集まることができる自助会創設（社会資源の開発）



身近につながる安心できる居場所づくり

- ２０１９年度は、小樽・苫小牧・江別にてサテライト事業を実施
- 小樽市は小樽市の後援のもと実施し年度内12回開催する
- 苫小牧市は北海道苫小牧保健所と共催で10団体機関の後援のもと実施し年度内5回開催する
- 江別は江別市社会福祉協議会と共催で８団体機関の後援のもと実施し年度内5回開催する

居場所の構造に関する仮説

タイプによる独自性

共通要素

当事者主体　家族協働　地域共生

居場所/学び/相談/企画

安心できる場づくり

当事者主体　家族協働　地域共生

ご清聴に感謝いたします